

II-1 訪日外国人の旅行動向

1 2019年の訪日旅行の概況

旅行消費額 4兆 8,135 億円と過去最高
 人数は韓国減で伸び鈍化、消費単価はプラス

(1) 訪日外客数の動向

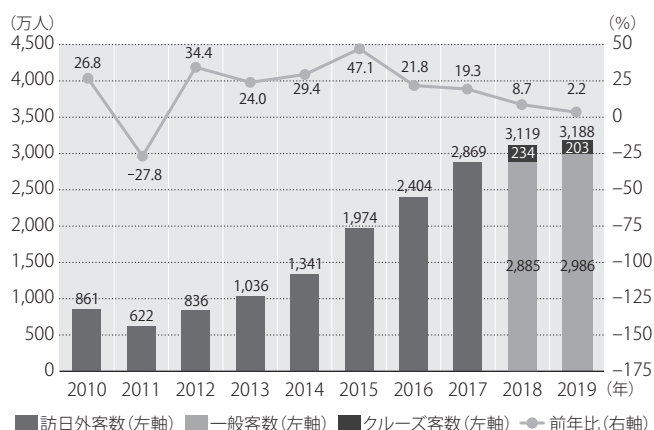
日本政府観光局 (JNTO) によると、2019年の訪日外客数は3,188万人 (前年比2.2%増) となった。2011年以降、継続して過去最高を記録したが、その伸びは鈍化した (図II-1-1)。

2019年において訪日外客数の伸び率 (前年比) が高かった国は、東南アジアのうちフィリピンとベトナム、そして英国であった。同年は日本が「ラグビーワールドカップ2019」の開催国であったことから、英国を中心に多様な国々から多くの観戦客が訪れた。訪日外客数の増加に対する寄与度では、中国、タイ、米国が高かった。一方、日韓両国の関係悪化に伴って、韓国からの訪日外客数が前年比26.0%減と大きく減少した (表II-1-1)。

(2) 客層の変化

観光庁「訪日外国人消費動向調査」によると、クルーズ客を除いた一般客 (以下、一般客) の客層は2015年から2018年にかけて観光・レジャー目的客の割合が増加傾向にあったが、2019年はこの割合が僅かではあるが減少した。

図II-1-1 訪日外客数の推移



資料：日本政府観光局 (JNTO)「訪日外客数」

表II-1-1 2019年における訪日外客数と訪日外国人旅行消費額

2019年	訪日外客数 (人)			1人当たり旅行支出 (円/人)		訪日外国人旅行消費額 (億円)				
	シェア (%)	前年比 (%)	寄与度 (%)	前年比 (%)	前年比 (%)	シェア (%)	前年比 (%)	寄与度 (%)		
全体	31,882,049	100.0	2.2	2.2	-	-	48,135	100.0	6.5	6.5
全国籍・地域	29,855,742	93.6	3.5	3.2	158,531	3.6	47,331	98.3	7.2	7.0
韓国	5,568,997	17.5	▲26.0	▲6.3	76,138	▲2.5	4,240	8.8	▲27.8	▲3.6
台湾	4,609,007	14.5	2.7	0.4	118,288	▲7.3	5,452	11.3	▲4.8	▲0.6
香港	2,252,080	7.1	4.0	0.3	155,951	0.9	3,512	7.3	4.9	0.4
中国	7,995,815	25.1	23.5	4.9	212,810	▲5.4	17,016	35.4	16.8	5.4
タイ	1,316,885	4.1	16.6	0.6	131,457	5.7	1,731	3.6	23.2	0.7
シンガポール	489,969	1.5	12.6	0.2	173,669	0.5	851	1.8	13.2	0.2
マレーシア	497,655	1.6	7.4	0.1	133,259	▲3.2	663	1.4	4.0	0.1
インドネシア	410,288	1.3	4.2	0.1	131,087	▲7.3	538	1.1	▲3.4	▲0.0
フィリピン	609,549	1.9	28.8	0.4	107,915	▲11.5	658	1.4	14.0	0.2
ベトナム	494,251	1.6	27.6	0.3	177,066	▲6.0	875	1.8	20.0	0.3
インド	173,692	0.5	13.9	0.1	157,244	▲2.6	273	0.6	11.0	0.1
英国	412,848	1.3	27.2	0.3	241,264	9.2	996	2.1	38.9	0.6
ドイツ	229,430	0.7	7.8	0.1	201,483	5.1	462	1.0	13.2	0.1
フランス	335,862	1.1	10.5	0.1	237,420	10.0	797	1.7	21.6	0.3
イタリア	162,074	0.5	8.6	0.0	199,450	▲10.8	323	0.7	▲3.1	▲0.0
スペイン	129,895	0.4	9.7	0.0	221,331	▲6.7	287	0.6	2.4	0.0
ロシア	118,684	0.4	26.8	0.1	183,015	▲2.8	217	0.5	23.3	0.1
米国	1,700,805	5.3	12.8	0.6	189,411	▲1.1	3,222	6.7	11.6	0.7
カナダ	366,758	1.2	13.7	0.1	181,795	▲0.8	667	1.4	12.8	0.2
オーストラリア	610,955	1.9	12.7	0.2	247,868	2.4	1,514	3.1	15.5	0.4
その他	1,370,243	4.3	15.2	0.6	221,514	10.9	3,035	6.3	27.7	1.5
クルーズ客	2,026,307	6.4	▲13.3	▲1.0	39,710	▲10.2	805	1.7	▲22.2	▲0.5

■ 上位3ヶ国・地域 (クルーズ客は除く)

資料：日本政府観光局 (JNTO)「訪日外客数」、観光庁「訪日外国人消費動向調査」
 (注) 訪日外客数は暫定値を使用している。

訪日経験回数は、この5年間は1回目の割合が減少傾向、2～5回目の割合も増加はみられず、6回目以上のハードリピーター層が増加傾向にある。台湾や香港に加え、中国のハードリピーター層の増加が背景にある。

旅行手配方法では、この5年間はパッケージ利用率が減少傾向にあり、2019年にはパッケージ利用率が25%を下回った。欧米はもともと個別手配が主流であり、アジアでの個別手配化が進んでいると読み取れる(図II-1-2)。

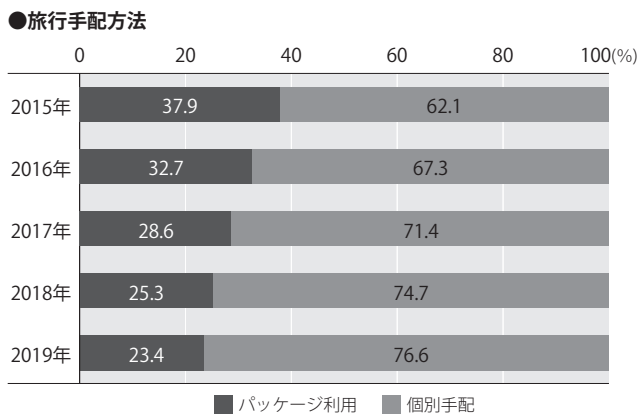
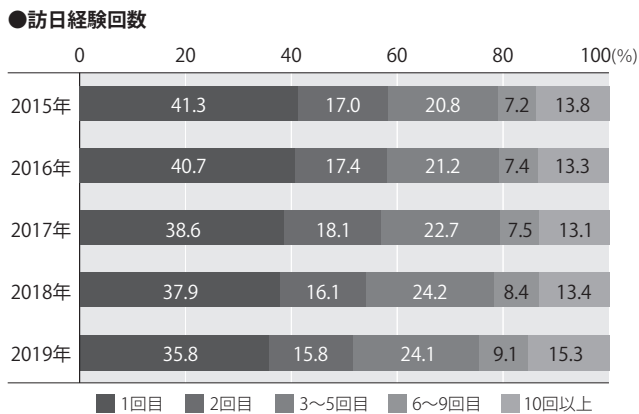
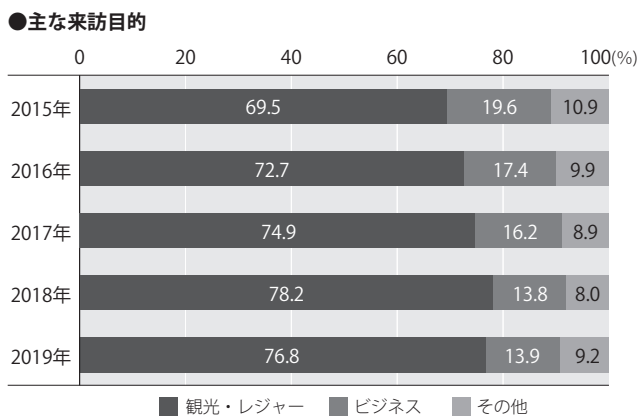
(3) 旅行支出の動向

観光庁「訪日外国人消費動向調査」によると、2019年の訪

日外国人旅行消費額は4兆8,135億円(前年比6.5%増)であり、2013年以降連続して過去最高を更新した。一般客1人当たり旅行支出は15.85万円(前年比3.6%増)と前年に比べ増加した(図II-1-3)。増加の要因としては旅行支出が低い韓国からの訪日外客数が減少したことが挙げられる。また、タイ、英・独・仏では一般客1人あたり旅行支出が前年比5.0%以上増加した。

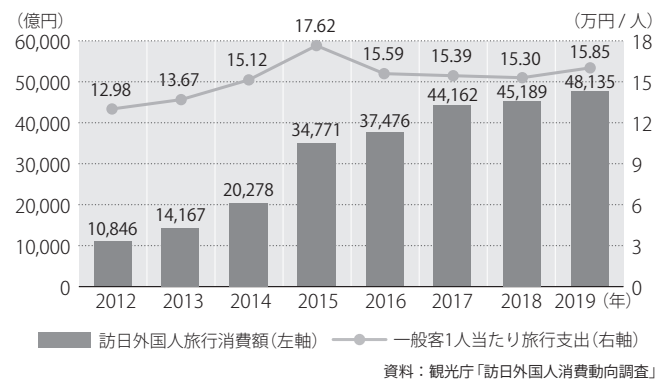
一般客1人当たり旅行支出を費目別に見ると、2019年はどの費目も少しずつ増加している。支出金額が最も大きい買物代を見ると、2019年は化粧品・香水と服・かばん・靴の支出が好調だった(図II-1-4、図II-1-5)。

図II-1-2 訪日外国人の客層変化



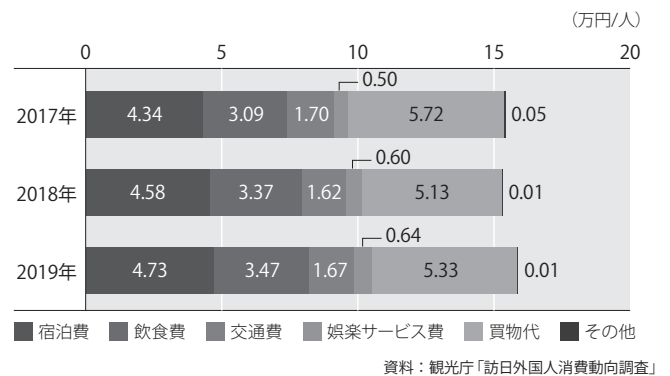
資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

図II-1-3 訪日外国人旅行消費額の推移



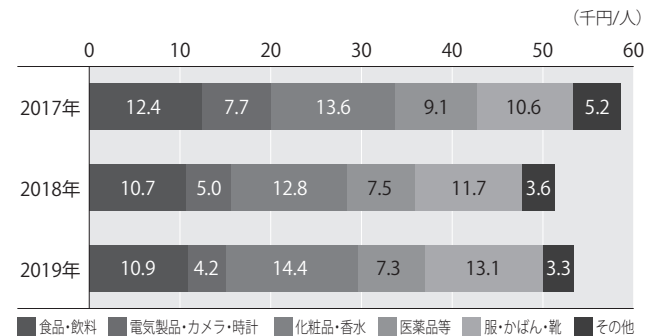
資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

図II-1-4 費目別にみる訪日外国人1人当たり旅行支出(一般客)



資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

図II-1-5 費目別にみる訪日外国人1人当たり買物代(一般客)



資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

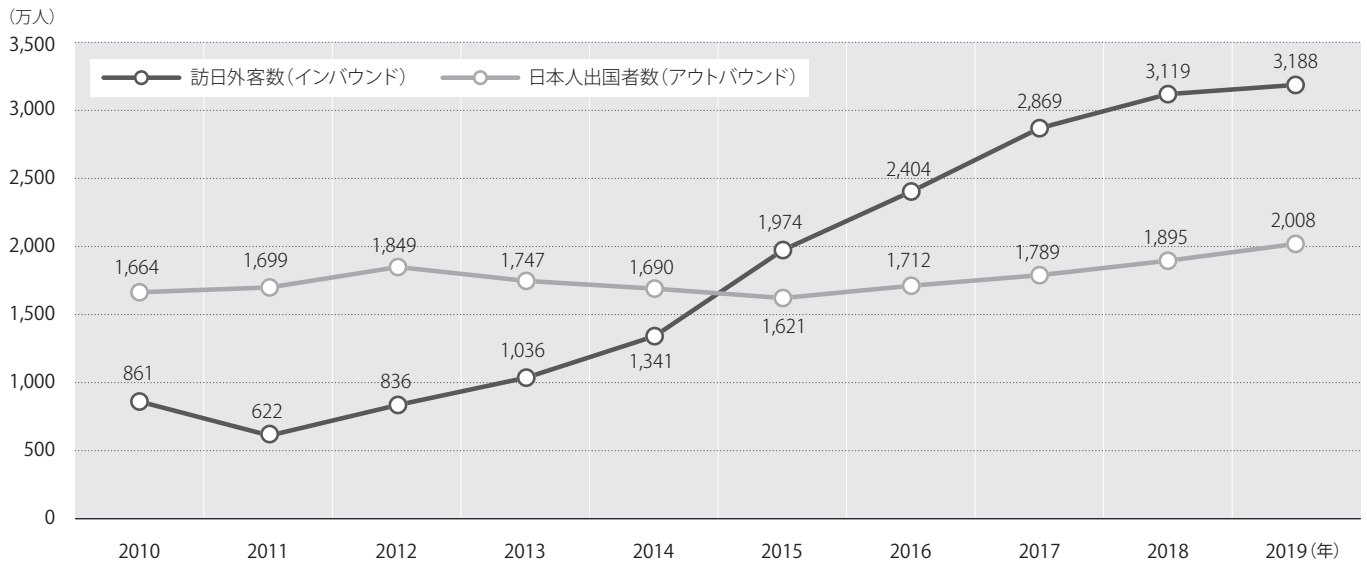
(4) 日本人海外旅行との対比

2015年以降、外国人の訪日旅行（インバウンド）が日本人の海外旅行（アウトバウンド）を人数、国際収支ともに上回る状況が続いている。一方で、日本人の海外旅行者数に相当する「日本人出国者数」（法務省「出入国管理統計」）も2015年以降は増加傾向にあり、2019年には初めて2,000万人を突破した。その結果、2019年においては訪日外客数と日本人出国者数の差は僅かに縮小した（図II-1-6）。

経済取引面からの視点として財務省・日本銀行「国際収支統計」をみると、2010年では旅行支払（アウトバウンド）がおおよそ2.4兆円に対して旅行受取（インバウンド）がおおよそ1.2兆円と2倍の開きがあったが、2014年には両者ともおおよそ2兆円に並んだ。2015年以降は旅行受取が旅行支払を上回り、2019年には旅行支払（アウトバウンド）がおおよそ2.3兆円に対して旅行受取（インバウンド）がおおよそ5.0兆円と、両者の差は継続して拡大傾向にある（図II-1-7）。

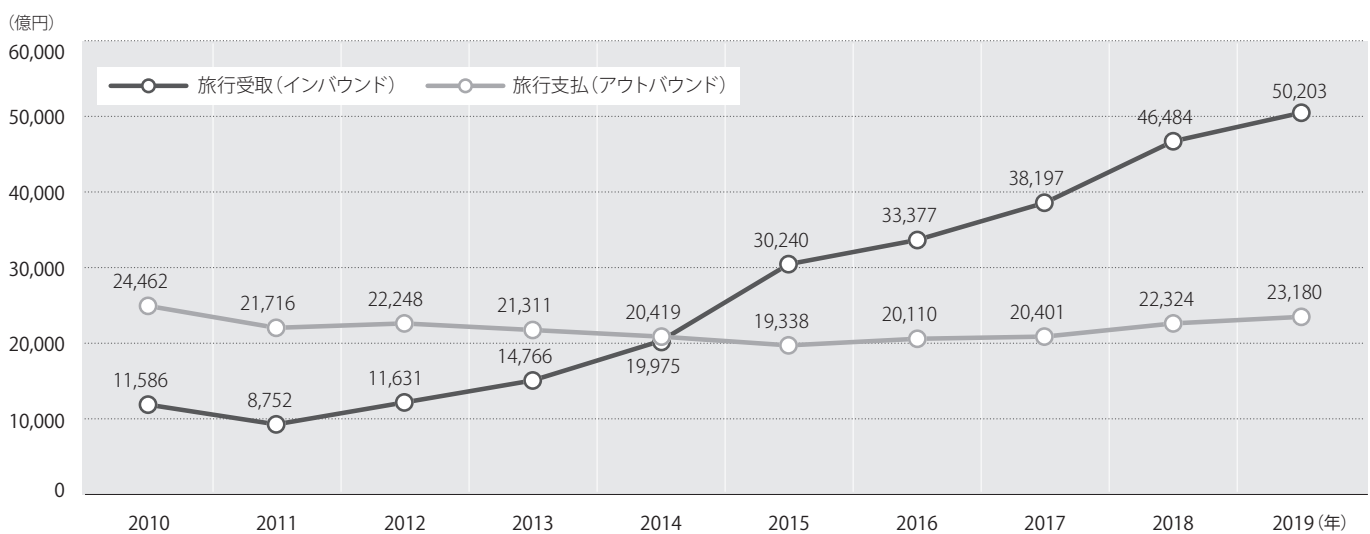
（川口明子）

図II-1-6 訪日外客数および日本人出国者数の推移



資料：法務省「出入国管理統計」、日本政府観光局（JNTO）「訪日外客数」

図II-1-7 国際収支における旅行受取および支払の推移



資料：財務省・日本銀行「国際収支統計」

2 市場別にみる訪日旅行動向

2019年の訪日外客数は韓国が大幅減。
ラグビー WC 観戦のため欧州を中心に増加

(1) 国籍・地域別にみる訪日旅行動向

訪日外客数を国籍・地域別にみると、2019年は多くの主要国・地域で前年を上回った。一方、韓国は日韓関係の悪化による影響で大幅な減少となった。前年に引き続き、台湾や香港の増加も落ち着いており、伸び率は1ケタ台に留まった。2019年9月から11月にかけて開催された「ラグビーワールドカップ2019」への観戦のため、参加国である英国やロシアをはじめ、ニュージーランドや南アフリカ共和国などを含む「その他」も大きく増加している。

2020年上半期は新型コロナウイルス感染拡大による影響により、全ての主要国・地域で前年比マイナスとなっている(表II-1-2)。

2019年のクルーズ客を除いた一般客(以下、一般客)の1人当たり旅行支出を国籍・地域別にみると、オーストラリア(24.8万円)や英国(24.1万円)などの欧州で高い。オーストラリアは冬にスキーを楽しむ客層が多いことから、娯楽サービス費(スキー用品レンタル代など)が高くなっている。欧米豪と「その他」については、「ラグビーワールドカップ2019」の観戦者により、娯楽サービス費(チケット代など)や飲食費などが高くなっている。

中国は買物代が高く、10.9万円と総額の約5割を占める。最も低いのは滞在期間の短い韓国(7.6万円)であり、いずれの費目(「その他」以外)もほかの国籍・地域に比べ低い(表II-1-3)。

表II-1-2 訪日外客数の推移(国籍・地域別)

		(単位:万人)											(単位:%)				
		2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020 上期	2018/ 2017年比	2019/ 2018年比	20上期/ 19上期比
訪日外客数全体		835.1	679.0	861.1	621.9	835.8	1036.4	1341.3	1973.7	2404.0	2869.1	3119.2	3188.2	394.7	8.7	2.2	▲76.3
東アジア	韓国	①238.2	①158.7	①244.0	①165.8	①204.3	①245.6	②275.5	②400.2	②509.0	②714.0	②753.9	②558.5	③47.8	5.6	▲25.9	▲87.6
	台湾	②139.0	②102.4	③126.8	③99.4	②146.6	②221.1	①283.0	③367.7	③416.8	③456.4	③475.7	③489.1	②69.0	4.2	2.8	▲72.2
	香港	55.0	45.0	50.9	36.5	48.2	74.6	92.6	152.4	183.9	223.2	220.8	229.1	34.5	▲1.1	3.8	▲68.6
	中国	③100.0	③100.6	②141.3	②104.3	③142.5	③131.4	③240.9	①499.4	①637.4	①735.6	①838.0	①959.4	①102.3	13.9	14.5	▲77.4
東南アジア	タイ	19.2	17.8	21.5	14.5	26.1	45.4	65.8	79.7	90.2	98.7	113.2	131.9	21.5	14.7	16.5	▲68.5
	マレーシア	16.8	14.5	18.1	11.1	14.2	18.9	22.8	30.9	36.2	40.4	43.7	49.2	5.5	8.2	12.6	▲74.4
	シンガポール	10.6	9.0	11.5	8.2	13.0	17.7	25.0	30.5	39.4	44.0	46.8	50.2	7.5	6.6	7.1	▲68.6
	フィリピン	6.7	6.4	8.1	6.2	10.1	13.7	15.9	20.5	27.1	35.2	39.7	41.3	7.0	12.6	4.0	▲67.7
	インドネシア	8.2	7.1	7.7	6.3	8.5	10.8	18.4	26.8	34.8	42.4	50.4	61.3	10.4	18.8	21.7	▲64.6
欧米・その他	ベトナム	3.5	3.4	4.2	4.1	5.5	8.4	12.4	18.5	23.4	30.9	38.9	49.5	11.2	25.9	27.3	▲56.0
	インド	6.7	5.9	6.7	5.9	6.9	7.5	8.8	10.3	12.3	13.4	15.4	17.6	2.3	14.6	14.2	▲75.7
	英国	20.7	18.1	18.4	14.0	17.4	19.2	22.0	25.8	29.2	31.0	33.4	42.4	5.0	7.6	27.0	▲73.2
	フランス	14.8	14.1	15.1	9.5	13.0	15.5	17.9	21.4	25.3	26.9	30.5	33.6	4.1	13.5	10.3	▲74.2
	ドイツ	12.6	11.1	12.4	8.1	10.9	12.2	14.0	16.3	18.3	19.6	21.5	23.7	2.9	10.1	9.8	▲75.8
	イタリア	5.6	6.0	6.2	3.4	5.2	6.7	8.1	10.3	11.9	12.6	15.0	16.3	1.3	19.2	8.5	▲82.4
	スペイン	4.1	4.2	4.4	2.1	3.5	4.4	6.1	7.7	9.2	10.0	11.9	13.0	1.1	19.1	9.5	▲78.1
	ロシア	6.6	4.7	5.1	3.4	5.0	6.1	6.4	5.4	5.5	7.7	9.5	12.0	2.1	22.7	26.6	▲62.9
	米国	76.8	70.0	72.7	56.6	71.7	79.9	89.2	103.3	124.3	137.5	152.6	172.4	21.4	11.0	12.9	▲75.5
	カナダ	16.8	15.3	15.3	10.1	13.5	15.3	18.3	23.1	27.3	30.6	33.1	37.5	5.3	8.2	13.5	▲71.3
オーストラリア	24.2	21.2	22.6	16.3	20.6	24.5	30.3	37.6	44.5	49.5	55.2	62.2	14.3	11.6	12.5	▲56.4	
その他	48.9	43.6	48.1	36.1	49.0	57.5	68.2	85.7	98.0	109.5	119.9	138.1	18.4	9.4	15.2	▲71.0	
うちクルーズ客(再掲)		-	-	-	-	-	-	-	-	193.6	244.9	233.8	202.6	12.0	▲4.6	▲13.3	▲86.5

(注1) ①②③は各年で旅行者数が多い国籍・地域の順位を示す。

資料: 日本政府観光局(JNTO)「訪日外客数」

(注2) 訪日外客数は2018年までは確定値、2019年から2020年4月までは暫定値、2020年5-6月は推計値を使用している。

表II-1-3 費目別にみる訪日外国人1人当たり旅行支出と旅行消費額(一般客(クルーズ客以外の訪日外国人)、国籍・地域別、2019年)

国籍・地域		旅行支出総額	宿泊料金	飲食費	交通費	娯楽サービス費	買物代	その他	旅行消費額
全国籍・地域		158,531	47,336	34,740	16,669	6,383	53,331	73	47,331
東アジア	韓国	76,138	25,412	21,132	7,823	3,742	17,939	89	4,240
	台湾	118,288	32,814	26,258	13,419	4,267	41,502	27	5,452
	香港	155,951	46,183	36,886	16,208	4,419	52,176	80	3,512
	中国	212,810	45,217	36,631	15,233	6,914	108,788	26	17,016
東南アジア	タイ	131,457	38,477	30,340	15,184	4,526	42,550	380	1,731
	シンガポール	173,669	63,463	43,167	19,176	5,256	42,402	204	851
	マレーシア	133,259	44,865	31,777	17,539	5,458	33,510	110	663
	インドネシア	131,087	45,112	26,955	19,879	4,690	34,387	63	538
	フィリピン	107,915	30,622	26,921	11,917	5,335	33,070	50	658
欧米・その他	ベトナム	177,066	48,861	46,241	18,076	5,081	58,780	27	875
	インド	157,244	73,588	33,073	21,826	4,756	23,988	12	273
	英国	241,264	102,944	62,101	33,557	22,091	20,506	64	996
	ドイツ	201,483	89,748	49,104	31,357	7,783	23,464	27	462
	フランス	237,420	100,136	59,608	35,846	11,029	30,801	0	797
	イタリア	199,450	83,623	52,253	32,424	6,291	24,804	55	323
	スペイン	221,331	90,552	58,116	37,432	9,911	25,288	32	287
	ロシア	183,015	65,491	45,586	19,627	8,491	43,778	43	217
	米国	189,411	83,125	48,279	26,014	8,692	23,218	83	3,222
	カナダ	181,795	75,569	45,664	28,809	8,744	22,970	40	667
オーストラリア	247,868	99,537	62,130	35,997	18,540	31,663	0	1,514	
その他	221,514	85,386	54,252	33,096	13,013	35,596	171	3,035	

資料: 観光庁「訪日外国人消費動向調査」

①韓国

韓国人出国者数は、近年一貫して伸び続けていたものの、2019年は前年に比べほぼ横ばいの2,871万人となった（表II-1-7）。方面別でみると日本が最も多く、次いで中国やベトナムなどの近隣アジアが続く。中国への訪問者数は中国との関係悪化により減少していたものの、2018年には回復傾向に入った。2018年は特にベトナムへの訪問者数が大きく増加している（表II-1-6）。

2019年の訪日韓国人旅行者数は558万人で、前年比マイナス25.9%の大幅な減少となった。要因としては経済問題や安全保障に関連する日韓関係の問題もあり、8月以降の訪日韓国人旅行者数が大幅に減少したことが挙げられる（表II-1-7）。

訪日韓国人旅行者の減少により客層にも変化がみられた。特に初来訪者など日本への来訪回数が少ない客層を中心に大きく減少したため、2019年はリピーター率が増加している。このほか、観光・レジャー目的客比率が減少した（表II-1-4）。

2019年の訪日韓国人旅行者の1人当たり旅行支出は滞在日数が短いことからほかの国籍・地域の中で最も低い7.6万円であった。費目別にみると、前年に比べて買物代が減少している（図II-1-8）。購入率が高い商品は菓子類で約8割が購入している（表II-1-5）。為替レートは、前年に比べやや円高傾向となっている（表II-1-7）。

表II-1-4 訪日韓国人の旅行動向

	2018	2019	前年との差
訪日韓国人旅行者数(万人)	754	558	▲195
平均泊数(泊)	4.4	5.1	0.7
観光レジャー比率	83.2%	77.8%	▲5.4%
リピーター率	71.2%	79.2%	8.0%
ツアー利用率	15.6%	14.7%	▲0.8%

資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

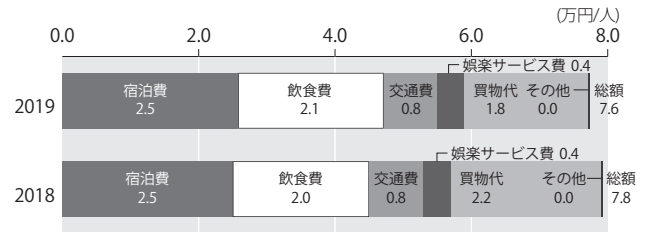
表II-1-7 韓国基本情報

	2005	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2024
①人口(万人) *1	4,819	4,955	4,994	5,020	5,043	5,075	5,102	5,125	5,145	5,166	5,187	5,209	5,294
②韓国人出国者数(万人) *2	1,008	1,249	1,269	1,374	1,485	1,608	1,931	2,238	2,650	2,870	2,871	-	-
③出国率(%) (②÷①)	20.9	25.2	25.4	27.4	29.4	31.7	37.9	43.7	51.5	55.5	55.4	-	-
④訪日韓国人旅行者数(万人) *3	174.7	244.0	165.8	204.3	245.6	275.5	400.2	509.0	714.0	753.9	558.5	-	-
⑤出国者に占める訪日旅行者比率(%) (④÷②)	17.3	19.5	13.1	14.9	16.5	17.1	20.7	22.7	26.9	26.3	19.4	-	-
⑥為替レート(100円/韓国ウォン) *1	10.8	7.6	7.2	7.1	8.9	10.0	10.7	9.4	9.9	10.0	9.4	9.0	-
⑦GDP成長率(%) *1	4.3	6.8	3.7	2.4	3.2	3.2	2.8	2.9	3.2	2.7	2.0	▲1.2	-
⑧1人当たりGDP(米ドル) *1	18,640	22,087	24,080	24,359	25,890	27,811	27,105	27,608	29,750	31,346	31,937	-	-

(注1) 斜体は推計値。(注2) ⑥為替レートの2020年の数値は2020年1～6月の平均値

資料：IMF (*1)、KTO (*2)、JNTO (*3)

図II-1-8 訪日韓国人の1人当たり旅行支出



資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

表II-1-5 費目別購入率及び購入者単価(韓国、2019年)

購入率順位	費目	購入率(%)	購入者単価(円/人)
1位	菓子類	77.9	5,495
2位	その他食料品・飲料・たばこ	37.7	4,283
3位	医薬品	36.0	6,089
4位	化粧品・香水	24.4	7,004
5位	酒類	24.1	4,781
6位	衣類	21.7	12,538
7位	靴・かばん・革製品	9.2	12,963
8位	健康グッズ・トイレットリー	8.7	11,116
9位	民芸品・伝統工芸品	4.3	4,405
10位	本・雑誌・ガイドブックなど	3.2	4,219

資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

表II-1-6 アジア各国・地域への韓国人訪問者数

(単位：万人)

訪問先	基準	2013	2014	2015	2016	2017	2018
日本	NFV	245.6	275.5	400.2	509.0	714.0	753.9
台湾	RFV	35.1	52.8	65.9	88.4	105.5	101.9
香港	RFV	74.5	89.5	93.3	107.2	116.1	111.6
中国	NFV	396.9	418.2	444.4	477.5	386.4	419.3
タイ	NFT	129.2	110.9	135.9	145.0	170.9	179.6
シンガポール	RFV	47.2	53.7	57.7	56.7	63.1	62.9
マレーシア	NFV	27.5	38.6	42.1	44.4	48.5	61.7
インドネシア	RFT	35.1	35.2	37.6	38.7	-	35.9
フィリピン	RFT	116.6	117.5	134.0	147.5	160.8	158.8
ベトナム	RFV	74.9	84.8	111.3	154.4	241.5	348.5
カンボジア	RFT	43.5	42.4	39.5	35.7	34.5	30.2

資料：日本政府観光局(JNTO)「日本の国際観光統計(2018)」

(注) [N]国籍別統計、[R]居住地別統計/[F]国境到着者数/[V]日帰りを含む旅行者数、[T]宿泊を伴った旅行者数

②台湾

2019年における台湾人出国者数と出国率は共に増加しており、出国者数は1,710万人となった。一方で出国者に占める訪日旅行者比率は28.6%と前年比横ばいであった(表II-1-11)。

方面別旅行先では、2015年以降日本が1位となっており、2019年では2位である中国と約87万人の差がある。2019年の訪日台湾人旅行者数は489万人で前年比プラス2.8%と微増であった。一方、台湾からの訪問者数4位の韓国や5位のベトナムでは大きく増加しており、それぞれ前年比2ケタ台の伸び率となっている(表II-1-10)。

台湾はほかの国籍・地域と比較してツアー利用率が高いものの、近年は急激な個人旅行化が進行しており、2019年のツアー利用率は34.7%と前年から4.8%ポイント減少した。訪日リピーター率も高く、2019年は前年比4.4%ポイント増の86.8%であった(表II-1-8)。

2019年の訪日台湾人旅行者の1人当たり旅行支出は11.8万円であった。費目別にみると、いずれの費目も減少がみられる(図II-1-9)。

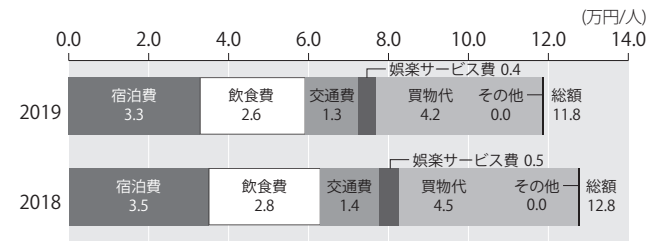
買物代のうち、購入率が高いのは「菓子類」のほか、「医薬品」などとなっている(表II-1-9)。

表II-1-8 訪日台湾人の旅行動向

	2018	2019	前年との差
訪日台湾人旅行者数(万人)	476	489	13
平均泊数(泊)	6.8	6.1	▲0.6
観光レジャー比率	88.1%	88.5%	0.4%
リピーター率	82.4%	86.8%	4.4%
ツアー利用率	39.5%	34.7%	▲4.8%

資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

図II-1-9 訪日台湾人の1人当たり旅行支出



資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

表II-1-9 費目別購入率及び購入者単価(台湾、2019年)

購入率順位	費目	購入率(%)	購入者単価(円/人)
1位	菓子類	78.1	8,470
2位	医薬品	57.1	12,890
3位	その他食料品・飲料・たばこ	44.2	6,533
4位	衣類	39.6	13,352
5位	化粧品・香水	38.4	16,576
6位	健康グッズ・トイレットリー	28.8	10,640
7位	靴・かばん・革製品	21.2	16,159
8位	酒類	18.5	5,538
9位	生鮮農産物	13.5	3,286
10位	電気製品 (デジタルカメラ/PC/家電等)	12.9	14,915

資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

表II-1-10 方面別台湾人旅行者数

	2015			2016			2017			2018			2019		
	国・地域	人数(万人)	前年比(%)	国・地域	人数(万人)	前年比(%)	国・地域	人数(万人)	前年比(%)	国・地域	人数(万人)	前年比(%)	国・地域	人数(万人)	前年比(%)
1位	日本	379.8	27.8	日本	429.5	13.1	日本	461.6	7.5	日本	482.6	4.6	日本	491.2	1.8
2位	中国	340.4	4.2	中国	368.5	8.3	中国	392.8	6.6	中国	417.3	6.2	中国	404.4	▲3.1
3位	香港	200.8	▲0.5	香港	190.3	▲5.3	香港	177.3	▲6.8	香港	169.6	▲4.3	香港	167.6	▲1.2
4位	タイ	60.0	43.0	韓国	80.8	61.7	韓国	88.9	9.9	韓国	108.7	22.3	韓国	120.9	11.3
5位	マカオ	52.7	6.9	マカオ	59.9	13.6	マカオ	58.9	▲1.6	タイ	67.9	22.6	ベトナム	85.3	29.5

(注) 出発地側の発表データであり、到着地側が公表している各国の到着者数とは一致しない。

資料：台湾交通部観光局

表II-1-11 台湾基本情報

	2005	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2024
①人口(万人)*1	2,277	2,316	2,323	2,332	2,337	2,343	2,349	2,354	2,357	2,360	2,363	2,367	2,379
②台湾人出国者数(万人)*2	821	942	958	1,024	1,105	1,184	1,318	1,459	1,565	1,664	1,710	-	-
③出国率(%) (②÷①)	36.0	40.6	41.3	43.9	47.3	50.5	56.1	62.0	66.4	70.5	72.4	-	-
④訪日台湾人旅行者数(万人)*3	127.5	126.8	99.4	146.6	221.1	283.0	367.7	416.8	456.4	475.7	489.1	-	-
⑤出国者に占める訪日旅行者比率(%) (④÷②)	15.5	13.5	10.4	14.3	20.0	23.9	27.9	28.6	29.2	28.6	28.6	-	-
⑥為替レート(円/台湾ドル)*1,*4	3.4	2.8	2.7	2.7	3.3	3.5	3.8	3.4	3.7	3.7	3.5	3.6	-
⑦GDP成長率(%)*1	5.4	10.2	3.7	2.2	2.5	4.7	1.5	2.2	3.3	2.7	2.7	▲4.0	-
⑧1人当たりGDP(米ドル)*1	16,503	19,262	20,912	21,270	21,888	22,639	22,374	22,573	24,390	24,971	25,448	-	-

(注1) 斜体は推計値。(注2) ⑥為替レートの2020年の数値は2020年1~6月の平均値

資料：IMF(*1)、台湾交通部観光局(*2)、JNTO(*3)、FRB(*4)

③香港

2018年の香港人出国者数は前年から増加し9,221万人となった(表II-1-15)。方面別にみると、中国以外の訪問地では日本が最も多く221万人、次いで台湾が165万人となっている(表II-1-14)。出国者に占める訪日旅行者比率は2.4%と前年比横ばいとなった。2019年の訪日香港人旅行者数は229万人と前年比3.8%増となり、2017年以降220万人台が続いている(表II-1-15)。

訪日香港人の特徴は観光レジャー比率とリピーター率が高いことで、2019年はそれぞれ91.6%、88.1%となった。リピーター率は増加が続いており、2019年は前年比2.5%ポイント増であった。個人旅行の比率も高く、2019年のツアー利用率は21.1%、前年からの変化はマイナス0.7%ポイントと微減であった(表II-1-12)。

2019年の訪日香港人旅行者の1人当たり旅行支出は15.6万円と前年に比べ大きな変化はみられない。ほかの国籍・地域に比べて1泊あたりの滞在費(宿泊費・飲食費)が高い点が香港の特徴である(図II-1-10)。

買物代は「衣類」の購入率が51.9%とほかの国籍・地域に比べ高い傾向にある(表II-1-13)。

表II-1-12 訪日香港人の旅行動向

	2018	2019	前年との差
訪日香港人旅行者数(万人)	221	229	8
平均泊数(泊)	6.3	6.1	▲0.2
観光レジャー比率	92.9%	91.6%	▲1.3%
リピーター率	85.6%	88.1%	2.5%
ツアー利用率	21.8%	21.1%	▲0.7%

資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

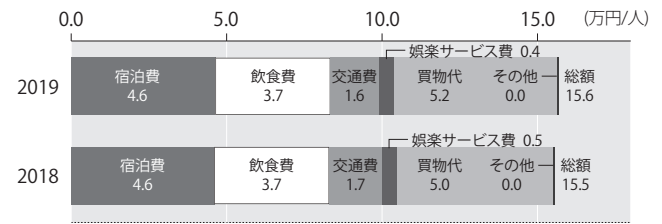
表II-1-15 香港基本情報

	2005	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2024
①人口(万人)*1	684	705	711	717	721	725	731	738	741	748	755	762	780
②香港人出国者数(万人)*2	7,230	8,444	8,482	8,528	8,441	8,452	8,908	9,176	9,134	9,221	-	-	-
③出国率(%) (②÷①)	1057.3	1197.4	1192.9	1189.2	1170.6	1165.3	1218.6	1243.9	1232.2	1232.3	-	-	-
④訪日香港人旅行者数(万人)*2	29.9	50.9	36.5	48.2	74.6	92.6	152.4	183.9	223.2	220.8	229.1	-	-
⑤出国者に占める訪日旅行者比率(%) (④÷②)	0.4	0.6	0.4	0.6	0.9	1.1	1.7	2.0	2.4	2.4	-	-	-
⑥為替レート(円/香港ドル)*1,*3	14.2	11.3	10.2	10.3	12.6	13.6	15.6	14.0	14.4	14.1	13.9	13.9	-
⑦GDP成長率(%)*1	7.4	6.8	4.8	1.7	3.1	2.8	2.4	2.2	3.8	2.9	▲1.2	▲4.8	-
⑧1人当たりGDP(米ドル)*1	26,552	32,422	34,951	36,620	38,230	40,182	42,322	43,496	46,091	48,517	50,542	-	-

(注1) 斜体は推計値。(注2) ⑥為替レートの2020年の数値は2020年1~6月の平均値

資料：IMF(*1)、JNTO(*2)、FRB(*3)

図II-1-10 訪日香港人の1人当たり旅行支出



資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

表II-1-13 費目別購入率及び購入者単価(香港、2019年)

購入率順位	費目	購入率(%)	購入者単価(円/人)
1位	菓子類	69.3	8,813
2位	衣類	51.9	21,911
3位	化粧品・香水	46.2	17,332
4位	医薬品	42.3	9,831
5位	その他食料品・飲料・たばこ	41.2	7,640
6位	靴・かばん・革製品	32.3	26,293
7位	健康グッズ・トイレットリー	21.9	10,794
8位	生鮮農産物	21.0	4,484
9位	酒類	16.2	8,891
10位	民芸品・伝統工芸品	6.8	8,483

資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

表II-1-14 アジア各国・地域への香港人訪問者数

(単位：万人)

訪問先	基準	2013	2014	2015	2016	2017	2018
日本	NFV	74.6	92.6	152.4	183.9	223.2	220.8
韓国	NFV	40.0	55.8	52.3	65.1	65.8	68.4
台湾	RFV	118.3	137.6	151.4	161.5	169.2	165.4
中国	NFV	7,688.5	7,613.2	7,944.8	8,105.9	7,979.6	-
タイ	NFT	58.8	48.3	67.0	75.1	82.1	101.6
シンガポール	RFV	54.0	63.1	61.0	53.8	46.6	47.3
マレーシア	NFV	0.1	0.1	0.1	-	-	-
インドネシア	RFT	9.5	9.5	9.4	10.1	9.8	9.1
フィリピン	RFT	12.6	11.4	12.2	11.6	11.1	11.8
ベトナム	RFV	1.0	1.5	-	3.5	4.8	6.2
カンボジア	RFT	0.9	1.0	1.5	1.6	1.3	1.2

資料：日本政府観光局(JNTO)「日本の国際観光統計(2018)」

(注) [N]国籍別統計、[R]居住地別統計/[F]国境到着者数/[V]日帰りを含む旅行者数、[T]宿泊を伴った旅行者数

④中国

中国人出国者数は増加が続いており、2019年は1億6,921万人と前年比4%のプラスであった。出国率はほかの東アジア諸国に比べて低いものの、年々上昇を続け2019年は12.1%に達している。出国者に占める訪日旅行者比率も増加傾向が続いており、2019年は前年から0.5%ポイント増の5.7%となった(表II-1-19)。

2018年における中国人出国者の訪問先は、香港に次いでタイ、日本の順で多い。韓国への訪問者数は韓国との関係悪化により2017年に大きく減少していたものの、2018年にはやや回復している。このほか、ベトナムなどをはじめとした東南アジアへの訪問者数も増加している(表II-1-18)。

2019年の訪日中国人旅行者数は959万人であり、そのシェアは訪日外国人全体の約3割と最も大きい。近年は個人旅行化が進行しており、2019年のツアー利用率は34.0%であった。リピーター率も増加傾向にあり、2019年は50.0%で前年比3.9%ポイントの増加であった。かつては初訪日のツアー利用客が多かったが、2015年以降は個人旅行やリピーター客の増加が続いている。また、業務目的などに比べて滞在の短い観光・レジャー目的客の比率が増加したことにより、平均泊数の減少も続いている(表II-1-16)。

2019年の訪日中国人旅行者の1人当たり旅行支出は21.3万円円で前年から1.2万円の減少となった。平均泊数の減少や、前年に比べてやや円高傾向となった為替レートによる影響であるとみられる。費目別にみると買物代が高く、支出全体の約半分を占めている(図II-1-11)。

買物代のうち特に人気なのは「化粧品・香水」で約8割が購入している。購入者単価も5.2万円と、ほかの国籍・地域に比べ高い(表II-1-17)。

表II-1-16 訪日中国人の旅行動向

	2018	2019	前年との差
訪日中国人旅行者数(万人)	838	959	121
平均泊数(泊)	9.7	7.5	▲2.2
観光レジャー比率	81.0%	84.2%	3.3%
リピーター率	46.1%	50.0%	3.9%
ツアー利用率	39.6%	34.0%	▲5.6%

資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

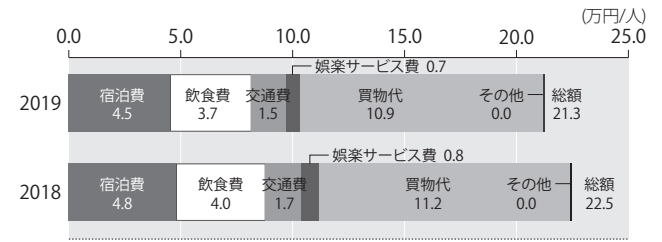
表II-1-19 中国基本情報

	2005	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2024
①人口(万人) *1	130,756	134,091	134,735	135,404	136,072	136,782	137,462	138,271	139,008	139,538	140,017	140,444	141,102
②中国人出国者数(万人) *2	3,103	5,739	7,025	8,318	9,819	11,659	12,786	13,513	14,273	16,199	16,921	-	-
③出国率(%) (②÷①)	2.4	4.3	5.2	6.1	7.2	8.5	9.3	9.8	10.3	11.6	12.1	-	-
④訪日中国人旅行者数(万人) *3	65.3	141.3	104.3	142.5	131.4	240.9	499.4	637.4	735.6	838.0	959.4	-	-
⑤出国者に占める訪日旅行者比率(%) (④÷②)	2.1	2.5	1.5	1.7	1.3	2.1	3.9	4.7	5.2	5.2	5.7	-	-
⑥為替レート(円/中国元) *1	13.5	13.0	12.3	12.6	15.8	17.2	19.5	16.4	16.6	16.7	15.8	15.4	-
⑦GDP成長率(%) *1	11.4	10.6	9.5	7.9	7.8	7.3	6.9	6.8	6.9	6.8	6.1	1.2	-
⑧1人当たりGDP(米ドル) *1	1,766	4,524	5,583	6,329	7,081	7,702	8,167	8,116	8,677	9,608	10,153	-	-

(注1) 斜体は推計値 (注2) ②中国人出国者数は香港・マカオへの出国者を含むが、日帰りを含んでいない。
(注3) ⑥為替レートの2020年の数値は2020年1~6月の平均値

資料：IMF(*1)、中国国家統計局(*2)、JNTO(*3)

図II-1-11 訪日中国人の1人当たり旅行支出



資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

表II-1-17 費目別購入率及び購入者単価(中国、2019年)

購入率順位	費目	購入率(%)	購入者単価(円/人)
1位	化粧品・香水	81.9	52,142
2位	菓子類	76.6	9,639
3位	医薬品	50.8	21,760
4位	衣類	38.5	28,512
5位	その他食料品・飲料・たばこ	37.1	10,440
6位	靴・かばん・革製品	25.0	49,810
7位	健康グッズ・トイレタリー	22.2	20,203
8位	電気製品(デジタルカメラ/PC/家電等)	14.7	33,110
9位	酒類	12.8	11,777
10位	民芸品・伝統工芸品	8.4	9,243

資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

表II-1-18 アジア各国・地域への中国人訪問者数

(単位：万人)

訪問先	基準	2013	2014	2015	2016	2017	2018
日本	NFV	131.4	240.9	499.4	637.4	735.6	838.0
韓国	NFV	432.7	612.7	598.4	806.8	416.9	479.0
台湾	RFV	287.5	398.7	418.4	351.2	273.3	269.6
香港	RFV	1,709.0	1,907.7	1,799.7	1,736.5	1,852.6	1,990.2
タイ	NFV	463.7	463.6	793.7	875.8	980.6	1,053.4
シンガポール	RFV	227.0	172.2	210.6	286.4	322.8	341.8
マレーシア	NFV	179.1	161.3	167.7	212.5	228.1	294.4
インドネシア	RFV	85.8	105.3	124.9	155.7	209.3	213.9
フィリピン	RFV	42.6	394.6	49.1	67.6	96.8	125.5
ベトナム	RFV	190.8	194.7	178.1	269.7	400.8	496.6
カンボジア	RFV	46.3	56.0	69.5	83.0	121.1	202.4

資料：日本政府観光局(JNTO)「日本の国際観光統計(2018)」
(注) [N]国籍別統計、[R]居住地別統計/[F]国境到着者数/[V]日帰りを含む旅行者数、[T]宿泊を伴った旅行者数

⑤タイ

2017年のタイ人出国者数は前年比9.3%増の896万人と増加傾向にあった(表II-1-23)。2018年におけるタイ人出国者のうち最も訪問者数の多い国・地域はマレーシア、次いで2位が日本であった。前年からの伸び率では日本がプラス14.7%と最も高い。3位は中国で、前年からの伸び率はプラス7.4%であった(表II-1-22)。

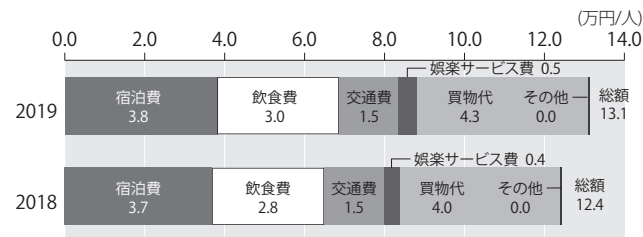
2019年の訪日タイ人旅行者数は132万人であった。増加率は2014年以降鈍化傾向が続いていたが2019年は大きな伸びをみせている(表II-1-23)。

旅行動向をみると、2019年は前年に比べリピーター率が増加しており72.2%となった。リピーター率は年によって増減がみられるものの、長期的な傾向としては増加傾向にあり、リピーター市場化が進んでいる(表II-1-20)。

2019年の訪日タイ人旅行者の1人当たり旅行支出は13.1万円、前年からは微増となっている(図II-1-12)。

買物代のうち人気なのは「菓子類」で8割弱が購入している。購入者単価も1.2万円と、ほかの国籍・地域と比べて高い(表II-1-21)。

図II-1-12 訪日タイ人の1人当たり旅行支出



資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

表II-1-21 費目別購入率及び購入者単価(タイ、2019年)

購入率順位	費目	購入率(%)	購入者単価(円/人)
1位	菓子類	78.4	11,795
2位	化粧品・香水	43.3	21,449
3位	衣類	39.8	15,481
4位	靴・かばん・革製品	36.4	17,899
5位	その他食料品・飲料・たばこ	33.2	11,217
6位	酒類	15.3	6,848
7位	医薬品	11.4	9,572
8位	生鮮農産物	8.7	7,255
9位	健康グッズ・トイレットリー	7.2	11,902
10位	電気製品 (デジタルカメラ/PC/家電等)	4.4	23,190

資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

表II-1-20 訪日タイ人の旅行動向

	2018	2019	前年との差
訪日タイ人旅行者数(万人)	113	132	19
平均泊数(泊)	8.8	8.8	0.0
観光レジャー比率	79.9%	77.2%	▲2.6%
リピーター率	67.1%	72.2%	5.1%
ツアー利用率	30.0%	28.9%	▲1.1%

資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

表II-1-22 アジア各国・地域へのタイ人訪問者数

(単位：万人)

訪問先	基準	2013	2014	2015	2016	2017	2018
日本	NFV	45.4	65.8	79.7	90.2	98.7	113.2
韓国	NFV	37.3	46.7	37.2	47.0	49.9	55.9
台湾	RFV	10.4	10.5	12.4	19.6	29.3	32.0
香港	RFV	42.7	39.5	41.1	45.5	43.0	45.0
中国	NFV	65.2	61.3	94.1	74.9	77.6	83.3
シンガポール	RFV	49.7	50.7	51.6	54.7	53.1	54.6
マレーシア	NFV	115.6	129.9	134.4	178.1	183.7	191.5
インドネシア	RFT	12.5	11.4	12.1	12.5	13.8	12.4
フィリピン	RFT	4.8	4.6	4.4	4.8	4.9	6.0
ベトナム	RFV	26.9	24.7	21.5	26.7	30.2	34.9
カンボジア	RFT	22.1	27.9	35.0	39.8	39.5	38.2

資料：日本政府観光局(JNTO)「日本の国際観光統計(2018)」

(注) [N]国籍別統計、[R]居住地別統計/[F]国境到着者数/[V]日帰りを含む旅行者数、[T]宿泊を伴った旅行者数

表II-1-23 タイ基本情報

	2005	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2024
①人口(万人)*1	6,405	6,592	6,621	6,649	6,676	6,700	6,724	6,746	6,765	6,779	6,791	6,802	6,826
②タイ人出国者数(万人)*2	305	534	540	572	597	644	679	820	896	-	-	-	-
③出国率(%) (②÷①)	4.8	8.1	8.2	8.6	8.9	9.6	10.1	12.2	13.2	-	-	-	-
④訪日タイ人旅行者数(万人)*2	12.0	21.5	14.5	26.1	45.4	65.8	79.7	90.2	98.7	113.2	131.9	-	-
⑤出国者に占める訪日旅行者比率(%) (④÷②)	3.9	4.0	2.7	4.6	7.6	10.2	11.7	11.0	11.0	-	-	-	-
⑥為替レート(円/バーツ)*1	2.7	2.8	2.6	2.6	3.2	3.3	3.5	3.1	3.3	3.4	3.5	3.4	-
⑦GDP成長率(%) *1	4.2	7.5	0.8	7.2	2.7	1.0	3.1	3.4	4.1	4.2	2.4	▲6.7	-
⑧1人当たりGDP(米ドル)*1	2,956	5,175	5,601	5,979	6,296	6,080	5,968	6,114	6,731	7,187	7,608	-	-

(注1) 斜体は推計値。(注2) ②タイ人出国者数は日帰りを含んでいない。(注3) ⑥為替レートの2020年の数値は2020年1~6月の平均値

資料：IMF(*1)、JNTO(*2)

⑥米国

米国人出国者数は2012年以降増加傾向が続いており、2019年は前年から6.5%増の6,010万人となった。方面別旅行先ではメキシコとカナダが長年トップの座を占めている。アジアでは1位が中国、2位が日本、3位がインドであった。2018年から2019年にかけて、中国が前年比マイナス1%と減少したのに対し、日本はプラス19%と増加したため、両者の差が縮まった（表II-1-25）。2019年の訪日米国人旅行者数は172万人と過去最高を記録した（表II-1-26）。

訪日米国人旅行者は従来業務目的客が多かったが、近年は観光レジャー比率が高まっており、2019年は前年比1.7%ポイント増の52.3%となった。（表II-1-24）。

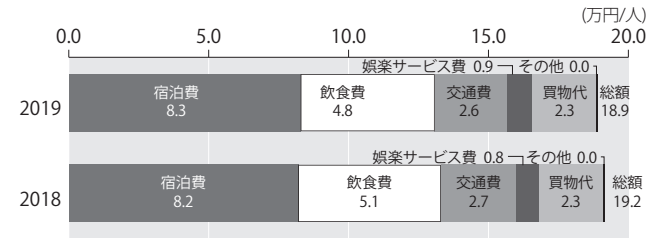
2019年の訪日米国人旅行者1人当たり旅行支出は18.9万円、前年からは微減となった。費目別では宿泊費の占める割合が高く、買物代が低い傾向にある。2019年は前年に比べ飲食費が減少している（図II-1-13）。

表II-1-24 訪日米国人の旅行動向

	2018	2019	前年との差
訪日米国人旅行者数(万人)	153	172	20
平均泊数(泊)	13.5	12.4	▲1.1
観光レジャー比率	50.7%	52.3%	1.7%
リピーター率	47.1%	48.1%	1.0%
ツアー利用率	10.3%	8.2%	▲2.1%

資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

図II-1-13 訪日米国人の1人当たり旅行支出



資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

表II-1-25 方面別米国人旅行者数

全体

	2015				2016				2017				2018				2019			
	国・地域	人数(万人)	前年比(%)	順位	国・地域	人数(万人)	前年比(%)	順位	国・地域	人数(万人)	前年比(%)	順位	国・地域	人数(万人)	前年比(%)	順位	国・地域	人数(万人)	前年比(%)	順位
1位	メキシコ(空路のみ)	799.4	15	1	メキシコ(空路のみ)	893.4	12	1	メキシコ(空路のみ)	981.1	10	1	メキシコ(空路のみ)	1,007.5	3	1	メキシコ(空路のみ)	1,015.8	1	1
2位	カナダ(空路のみ)	386.1	13	2	カナダ(空路のみ)	451.6	17	2	カナダ(空路のみ)	478.0	6	2	カナダ(空路のみ)	459.2	▲4	2	カナダ(空路のみ)	513.4	12	2
3位	英国	288.5	2	3	英国	319.7	11	3	英国	375.6	17	3	英国	392.7	5	3	英国	394.3	0	3
4位	ドミニカ共和国	278.7	3	4	ドミニカ共和国	270.6	▲3	4	ドミニカ共和国	272.1	1	4	フランス	300.8	14	4	イタリア	318.1	9	4
5位	フランス	236.1	11	5	イタリア	221.4	9	5	フランス	264.5	21	5	イタリア	292.4	25	5	フランス	313.7	4	5
14位	日本	88.5	11	14	日本	98.4	11	11	日本	115.0	17	14	日本	117.0	2	11	日本	138.9	19	11

アジア

	2015				2016				2017				2018				2019			
	国・地域	人数(万人)	前年比(%)	順位	国・地域	人数(万人)	前年比(%)	順位	国・地域	人数(万人)	前年比(%)	順位	国・地域	人数(万人)	前年比(%)	順位	国・地域	人数(万人)	前年比(%)	順位
1位	中国	121.3	7	1	中国	130.0	7	1	中国	138.0	6	1	中国	158.7	15	1	中国	156.8	▲1	1
2位	インド	108.2	0	2	インド	119.5	10	2	日本	115.0	17	2	インド	125.3	13	2	日本	138.9	19	2
3位	日本	88.5	11	3	日本	98.4	11	3	インド	111.1	▲7	3	日本	117.0	2	3	インド	134.4	7	3
4位	フィリピン	82.0	16	4	フィリピン	91.4	11	4	フィリピン	84.3	▲8	4	フィリピン	91.9	9	4	フィリピン	94.1	2	4
5位	香港	55.7	7	5	香港	56.2	1	5	香港	57.5	2	5	韓国	71.0	32	5	韓国	71.7	1	5

資料：U.S. Department of Commerce, International Trade Administration, National Travel & Tourism Office

表II-1-26 米国基本情報

	2005	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2024
①人口(万人)*1	29,612	30,974	31,194	31,416	31,633	31,862	32,093	32,323	32,533	32,735	32,956	33,181	34,098
②米国人出国者数(万人)*2	3,837	3,736	3,601	3,787	3,846	4,113	4,464	4,859	5,292	5,644	6,010	-	-
③出国率(%) (②÷①)	13.0	12.1	11.5	12.1	12.2	12.9	13.9	15.0	16.3	17.2	18.2	-	-
④訪日米国人旅行者数(万人)*3	82.2	72.7	56.6	71.7	79.9	89.2	103.3	124.3	137.5	152.6	172.4	-	-
⑤出国者に占める訪日旅行者比率(%) (④÷②)	2.1	1.9	1.6	1.9	2.1	2.2	2.3	2.6	2.6	2.7	2.9	-	-
⑥為替レート(円/米ドル)*1	110.2	87.8	79.8	79.8	97.7	105.6	121.1	108.7	112.1	110.4	109.0	108.2	-
⑦GDP成長率(%)*1	3.5	2.6	1.6	2.2	1.8	2.5	2.9	1.6	2.4	2.9	2.3	▲5.9	-
⑧1人当たりGDP(米ドル)*1	44,026	48,403	49,826	51,556	53,061	54,993	56,770	57,877	59,895	62,606	64,767	-	-

資料：IMF(*1)、U.S. Department of Commerce, International Trade Administration(*2)、JNTO(*3)

(注1) 斜体は推計値。(注2) ②米国人出国者数はメキシコやカナダへの陸路による出国者数を除いた数値。(注3) ⑥為替レートの2020年の数値は2020年1~6月の平均値(注4) 出発地側の発表データであり、到着地側が公表している到着者数とは一致しない。

(2) 都道府県別にみる訪日旅行動向

①訪問者数

2019年における訪日外国人の都道府県別訪問者数をみると、東京都(1,410万人)や大阪府(1,153万人)、千葉県(1,048万人)、京都府(830万人)で特に多い。このうち、千葉県への訪問者は成田空港の利用が多い。次いで奈良県が350万人、愛知県、福岡県、北海道、神奈川県が200万人台、沖縄県、兵庫県、山梨県、静岡県が100万人台となっており、大都市やその周辺部、ゴールデンルート上などで多くなっている。一方、東北や北関東、山陰、四国地方では少なく、10万人に満たない県も存在する。

都道府県別訪問者数の前年比をみると、もともと訪問者数の少ない東北、北陸地方や新潟県などで2桁台のプラスとなった。また、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県などでも、前年比20%程度増加している。一方、韓国人訪問者数比率の高い九州地方や山口県、沖縄県などでは、韓国人旅行者の減少による影響で、前年比マイナスとなった地域も存在する。都市部では、東京都が7%増、大阪府が9%増と堅調な伸びをみせた(図II-1-14)。

②クルーズ客数

船舶観光上陸許可を受けた外国人数(クルーズ客数)は九

州や沖縄地方で多く、中でも博多港や長崎港、那覇港で特に多い。このほか長崎県内では佐世保港、沖縄県内では平良港・石垣港でも多い。

国籍・地域別では中国が159.9万人と全体の79%を占めている。台湾人クルーズ客はほとんどが沖縄県内で上陸しており、那覇港、平良港、石垣港を合わせると、台湾人クルーズ客全体の8割以上を占める(表II-1-27)。

表II-1-27 船舶観光上陸許可を受けた外国人数(2019年)

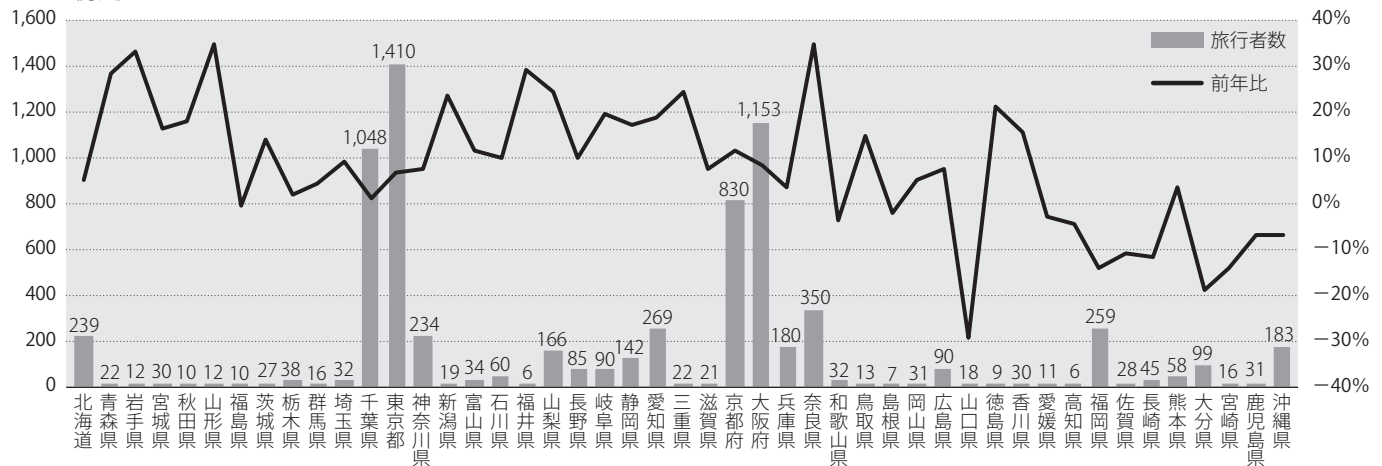
(単位:人)

国籍・地域 上陸港	全国籍・地域			
	韓国	台湾	香港	中国
日本全国	15,600	281,595	38,712	1,598,579
関門港	26	116	248	73,531
博多港	2,905	5,211	994	440,825
長崎港	2,826	13,638	971	313,123
佐世保港	60	2,332	182	108,988
八代港	28	105	132	35,789
鹿児島港	237	14,682	2,454	101,965
那覇港	371	133,984	31,773	328,522
平良港	22	29,705	669	65,911
石垣港	67	78,431	682	38,692
その他	9,058	3,391	607	91,233

資料:法務省「出入国管理統計」

図II-1-14 都道府県別訪日外国人訪問者数(2019年)

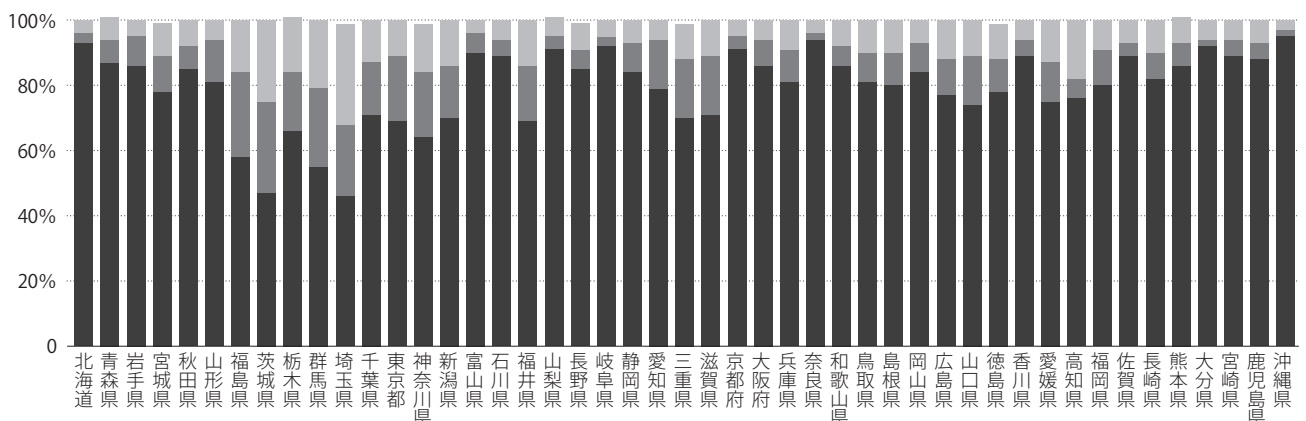
(万人)



資料:観光庁「訪日外国人消費動向調査」

図II-1-15 都道府県別訪日外国人訪問者の主な旅行目的(2019年)

■観光・レジャー ■業務 ■その他



資料:観光庁「訪日外国人消費動向調査」

③主な旅行目的

各都道府県を訪問する外国人旅行者の主な旅行目的をみると、多くの地域で「観光・レジャー」目的客の比率が7～9割程度を占めている。一方、福島県や茨城県、群馬県、埼玉県では「業務」目的や、留学などを含む「その他」目的が多く、「観光・レジャー」目的は4～6割程度となっている（図II-1-15）。

④旅行消費額

都道府県別の訪日外国人旅行消費額は、東京都で圧倒的に高く1兆5,000億円、次いで大阪府が8,500億円となっている（図II-1-16）。

⑤国籍・地域比率（訪日外国人観光客）

各都道府県を訪問する外国人旅行者のうち、「観光・レジャー」目的客（以下、訪日外国人観光客）のみに絞って、国籍・地域別比率を示す。

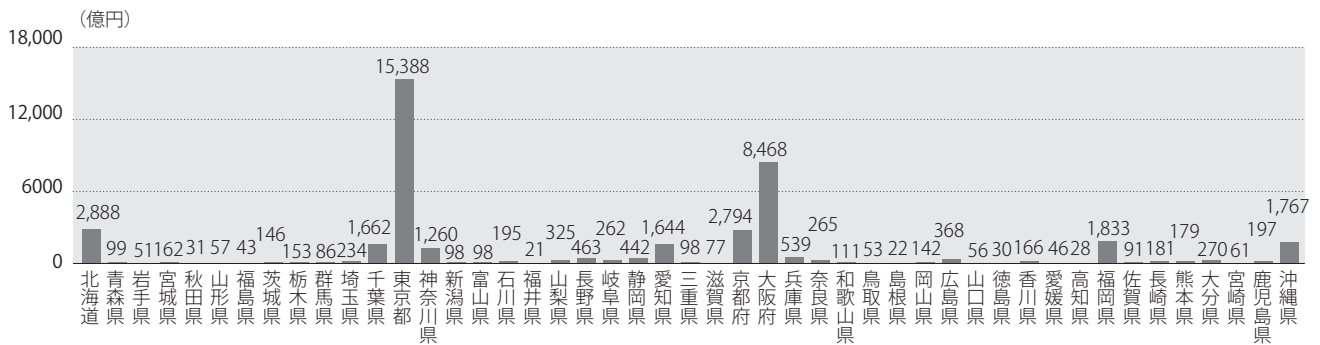
東アジアは国籍・地域によって訪問地が大きく異なり、全国

各地に分散している。韓国人比率は九州や山陰地方で高い傾向にある。特に福岡、大分、山口県における比率が高く、訪日外国人の5割程度を韓国人が占めている。また東日本においては北海道で比較的高い。台湾人比率は東北地方などで高く、4～7割程度を占める。また沖縄県でも台湾人比率が約4割と高い。香港人比率は四国地方や九州地方南部で高い傾向がみられ、2～3割程度を占めている。このほか、鳥取県などでも高い。中国人比率はゴールデンルート上で高く、静岡、愛知、奈良県で6～7割、山梨県や京都、大阪府で4～5割程度を占める。

東南アジア人比率は、関東地方を中心に高い傾向がみられ、北関東地方や福島県、埼玉県、山梨県で2割程度を占めている。

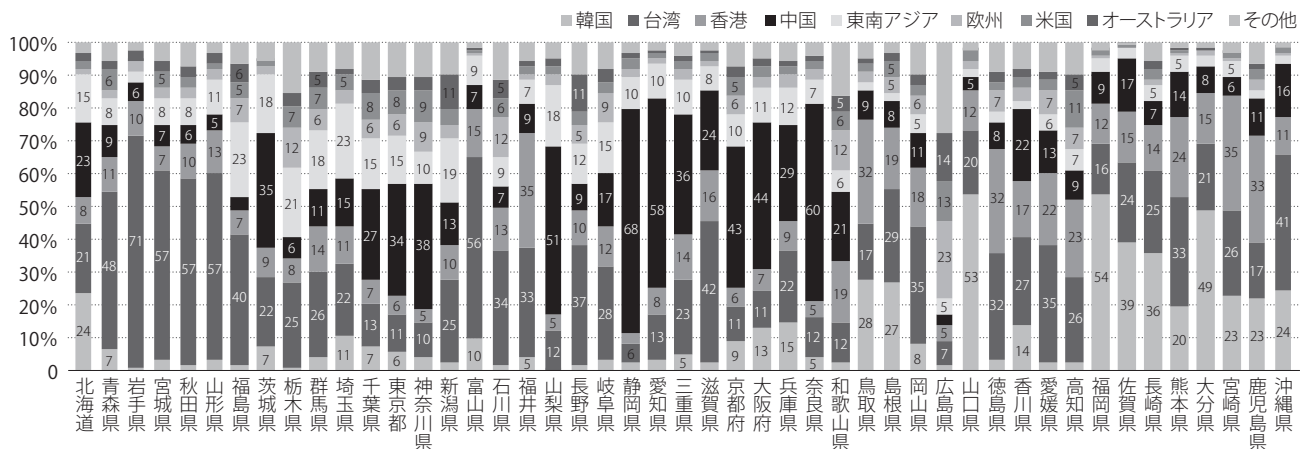
欧米豪の比率は有名歴史観光地を抱える地方の都道府県において高い点が共通しており、栃木県（日光）、石川県（金沢）、広島県（宮島）などで高い。このうち広島県は特に高く欧米豪を合わせた訪問者の比率は5割に達する。このほかオーストラリア人比率は新潟と長野県でも高い（図II-1-17）。

図II-1-16 都道府県別 訪日外国人旅行消費額（2019年）



資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

図II-1-17 都道府県別訪日外国人観光客の国籍・地域比率（観光・レジャー目的客）



(注) 東南アジアはタイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナムを、欧州は英国、フランス、ドイツ、イタリア、スペインを指す。 資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

⑥平均泊数と旅行支出(訪日外国人観光客)

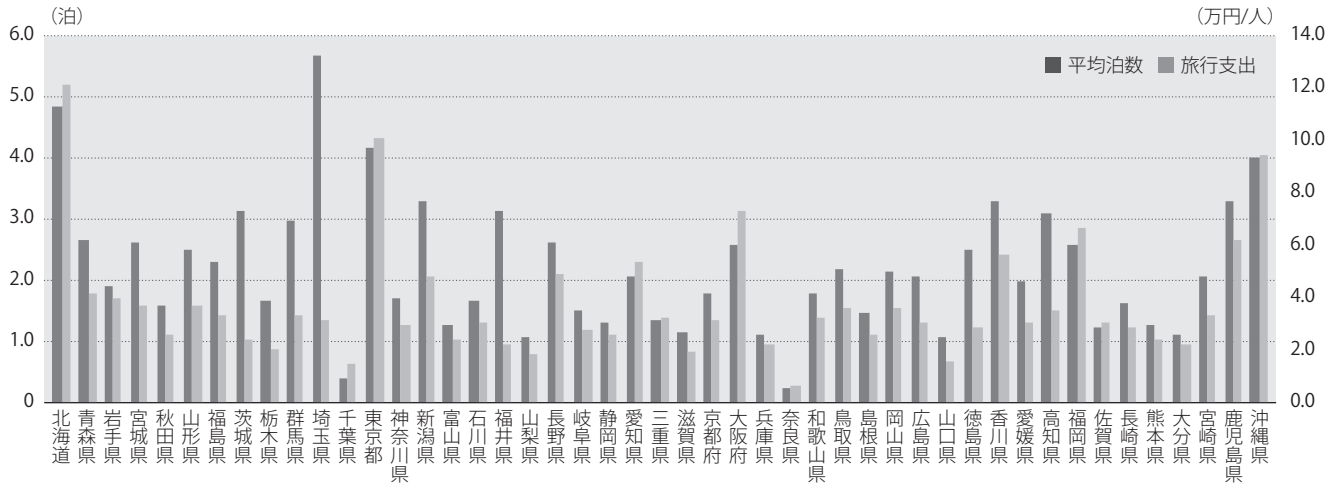
各都道府県を訪問する訪日外国人観光客による、都道府県別の平均泊数と旅行支出(パッケージツアー等参加費の訪問地収入分を含む)をみると、泊数の長さで旅行支出は概ね連動していることがわかる。北海道や東京都、沖縄県は平均泊数が長く旅行支出も高い。逆に、日帰り客の多い奈良県や、成田空港利用者が大半の千葉県は平均泊数が短く旅行支出も低い。一方で、茨城県や群馬県、埼玉県などは、平均泊数が長いにもかかわらず旅行支出は低い(図II-1-18)。

地域ブロック別にみると、平均泊数は関東、北海道、東北地方の順で長い。旅行中支出は関東地方で10.0万円と最も高く、次いで北海道、沖縄、近畿地方の順となっている。

国籍・地域別にみると、多くの地方で香港の旅行中支出が高い。中国は北海道や関東、九州、沖縄地方で高く10万円を超える。東京都や大阪府では、中国人観光客の旅行中支出が高くそれぞれ10.5万円、7.5万円であるが、京都府は低く1.7万円となっている(表II-1-28)。

(川村竜之介)

図II-1-18 都道府県別 訪日外国人観光客の平均泊数・旅行支出(2019年)



表II-1-28 国籍別地域ブロック別 訪日外国人観光客の平均泊数・旅行中支出(2019年)

平均泊数		(単位:泊)						旅行中支出		(単位:万円/人)						
国籍・地域	訪問地	全国籍・地域							国籍・地域	訪問地	全国籍・地域					
		韓国	台湾	香港	中国	タイ	米国	韓国			台湾	香港	中国	タイ	米国	
北海道	4.8	3.2	4.5	5.5	4.8	5.1	6.1	北海道	9.4	6.0	7.2	14.6	12.4	9.4	10.9	
東北	4.4	2.9	4.4	4.4	3.8	2.9	5.4	東北	5.4	5.0	6.0	7.3	5.9	4.3	3.3	
関東	4.9	4.1	4.6	4.4	3.6	4.9	5.7	関東	10.0	6.4	8.4	11.2	11.9	8.4	10.3	
北陸信越	2.8	2.1	2.1	2.5	2.3	2.4	3.2	北陸信越	3.7	2.1	2.1	4.2	4.3	3.2	4.8	
中部	2.3	2.4	2.4	3.2	1.9	2.8	2.4	中部	3.9	4.2	3.7	7.4	3.9	4.5	2.8	
近畿	4.0	3.3	4.3	4.4	3.4	4.2	4.6	近畿	8.0	6.1	7.1	9.5	9.1	8.1	7.2	
中国	2.3	1.4	2.4	3.3	2.8	-	2.3	中国	3.0	2.1	3.3	6.2	4.9	-	2.3	
四国	4.2	2.3	5.0	4.4	3.8	-	2.7	四国	5.3	3.5	5.1	7.8	7.5	-	2.3	
九州	3.8	2.6	4.8	5.3	5.0	4.6	5.2	九州	7.5	5.2	8.0	11.9	15.3	9.0	5.6	
沖縄	4.0	3.1	3.8	4.5	4.3	-	8.3	沖縄	8.4	5.5	8.0	11.3	12.2	-	6.8	
(以下再掲)								(以下再掲)								
東京都	4.1	3.6	3.6	3.9	2.7	3.8	5.1	東京都	8.8	5.7	6.9	9.9	10.5	7.1	9.5	
大阪府	2.6	2.7	2.5	3.0	2.2	3.5	2.3	大阪府	6.1	5.2	4.8	6.9	7.5	6.8	3.7	
京都府	1.8	0.8	1.9	1.5	1.2	1.0	3.1	京都府	2.6	1.4	2.7	2.9	1.7	1.8	4.9	

資料:観光庁「訪日外国人消費動向調査」

資料:観光庁「訪日外国人消費動向調査」

(注1) 訪問地における泊数の平均値である。
 (注2) 地方区分は国土交通省地方運輸局の管轄都道府県に基づく。
 (注3) サンプル数が少ない数値は非表示としている。

(注1) 訪問地における1人当たり旅行中支出の平均値である。
 パッケージツアー参加費に含まれる宿泊料金などの滞在費は含まない。
 (注2) 地方区分は国土交通省地方運輸局の管轄都道府県に基づく。
 (注3) サンプル数が少ない数値は非表示としている。

■ 世界の国際観光動向

世界の国際観光客到着数は前年比 3.6%増
香港民主化デモで北東アジアの伸びが鈍化

(1) インバウンド(到着地側)の動向

●国際観光客到着数

世界観光機関 (UNWTO) によると、2019年における国際観光客到着数 (International Tourist Arrivals) は世界全体で14億5,800万人回 (前年比3.5%増) となった。前年に引き続き過去最高を記録したが、その伸びは鈍化している (表II-1-29)。リーマン・ショック (2008年) 後の一時的な減少を除き、2000年以降は増加基調を維持している (図II-1-19)。

国際観光客到着数を到着地域別にみると、2019年の国際観光客到着数は全ての地域において前年を上回った。対前年の伸びが最も大きい地域はイランやインドを含む南アジアであり、前年に引き続き高い伸びをみせた。東南アジアやアフリカの伸びも大きい。一方、日本を含む北東アジアは前年比0.8%増となり、国際観光客到着数の伸びが鈍化した (表II-1-29)。

2019年の国際観光客到着数を到着国・地域別にみると、上位の顔ぶれに変化はみられないが、6位のトルコは前年比11.9%増と高い伸びを示した。一方、3位の米国は前年比0.6%減となった (表II-1-30)。

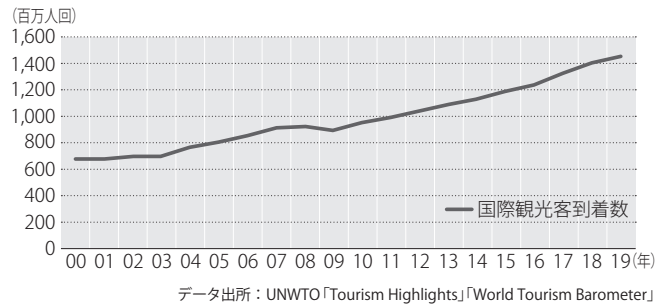
北東アジア地域では、韓国の国際観光客到着数が前年比14.0%増と大きく伸びた。一方、香港は民主化デモの影響を受け前年比18.8%減と大幅に減少した。日本は順位こそ前年同様の11位を維持したものの、日韓関係の問題等の影響により国際観光客到着数の伸びは鈍化した。

●国際観光収入

2019年の国際観光収入 (International Tourism Receipts) は、世界全体でおよそ1兆4,780億USD (前年比2.5%増) と推計される (表II-1-31)。増加基調を維持したが、前年に比べると伸びは鈍化した。到着地域別にみると、中東地域の伸

びが前年比8.4%増と大きい。同地域の国際観光客到着数の伸びが前年比2.1%増であることから、消費単価が上昇したものと解釈できる。一方、北東アジア地域は前年比3.4%減とマイナスに転じた。

図II-1-19 国際観光客到着数の推移



表II-1-30 国際観光客到着数ランキング (到着国・地域別)

順位	到着国・地域	到着国・地域別 国際観光客到着数 (百万人回)						到着数 調査 方法
		2010	2017	2018	2019	前年比 (%)		
				18/17	19/18			
1位	フランス	77.6	86.9	89.4	..	2.9	..	TF
2位	スペイン	52.7	81.9	82.8	83.7	1.1	1.1	TF
3位	米国	60.0	77.2	79.7	79.3	3.3	▲0.6	TF
4位	中国	55.7	60.7	62.9	65.7	3.6	4.5	TF
5位	イタリア	43.6	58.3	61.6	64.5	5.7	4.8	TF
6位	トルコ	31.4	37.6	45.8	51.2	21.7	11.9	TF
7位	メキシコ	23.3	39.3	41.3	45.0	5.1	9.0	TF
8位	タイ	15.9	35.6	38.2	39.8	7.3	4.2	TF
9位	ドイツ	26.9	37.5	38.9	39.6	3.8	1.8	TCE
10位	英国	28.3	39.5	38.7	39.4	▲2.2	1.9	TF
(11位以下の主な北東アジアの国・地域)								
11位	日本	8.6	28.7	31.2	31.9	8.7	2.2	VF
17位	香港	20.1	27.9	29.3	23.8	4.9	▲18.8	TF
24位	韓国	8.8	13.3	15.3	17.5	15.1	14.0	VF
35位	台湾	5.6	10.7	11.1	11.9	3.0	7.2	VF

(注) 2019年は暫定値
TF : 国境での調査 (日帰りを除く)
VF : 国境での調査 (日帰りを含む)
TCE : 宿泊施設 (非営利含む) での調査
資料: UNWTO「World Tourism Barometer」

表II-1-29 世界の国際観光客到着数 (到着地域別)

	到着地域別 国際観光客到着数 (百万人回)								シェア (%)	前年比 (%)		
	2000	2005	2010	2015	2016	2017	2018	2019		2019	18/17	19/18
世界全体	680	809	956	1,197	1,243	1,333	1,408	1,458	100.0	5.7	3.5	
到着地域	ヨーロッパ	392.9	452.9	490.6	606.6	621.8	676.6	716.0	744.3	51.1	5.8	3.9
	アジア太平洋	110.4	154.1	208.2	284.6	306.6	324.1	347.7	360.1	24.7	7.3	3.6
	北東アジア	58.4	85.9	111.5	142.1	154.3	159.5	169.2	170.6	11.7	6.1	0.8
	東南アジア	36.3	49.0	70.5	104.2	110.8	120.6	128.6	136.8	9.4	6.7	6.4
	オセアニア	9.6	10.9	11.5	14.3	15.6	16.6	17.0	17.5	1.2	2.8	2.4
	南アジア	6.1	8.3	14.7	24.0	25.9	27.5	32.8	35.2	2.4	19.4	7.4
	アメリカ	128.2	133.3	150.3	194.0	201.2	210.8	215.9	219.4	15.9	2.4	1.6
	アフリカ	26.2	34.8	50.4	53.9	58.1	63.3	68.7	72.4	5.0	8.4	5.4
中東	22.4	34.0	56.1	58.3	55.5	57.6	60.1	61.4	4.2	4.3	2.1	

(注) 2019年は暫定値

UNWTO「World Tourism Barometer」

表II-1-31 世界の国際観光収入(到着地域別)

	到着地域別国際観光収入 (10億USドル)									到着地域別 国際観光客 到着数 (百万人回)		
							シェア (%)	前年比 (現地通貨基準) (%)		2019	1人当たり 国際観光収入 (USドル/人回)	
	2010	2015	2016	2017	2018	2019	2019	18/17	19/18			
世界全体	979	1,222	1,254	1,347	1,457	1,478	100.0	4.8	2.5	1,458	1,010	
到着地域	ヨーロッパ	427.1	470.5	472.7	520.1	569.8	573.5	38.8	4.7	4.4	754	770
	アジア太平洋	254.3	351.8	371.0	391.9	436.5	443.2	30.0	8.8	1.2	360	1,230
	北東アジア	122.9	166.7	169.1	168.5	193.3	187.6	12.7	11.5	▲3.4	171	1,100
	東南アジア	68.5	105.0	117.0	126.1	138.4	147.6	10.0	5.6	4.2	137	1,080
	オセアニア	42.8	48.1	51.7	57.4	61.1	61.8	4.2	6.9	5.9	17	3,540
	南アジア	20.1	32.1	33.3	39.9	43.6	46.2	3.1	10.4	5.1	35	1,310
	アメリカ	215.2	311.2	319.2	330.0	338.2	341.7	23.1	0.4	▲0.1	219	1,560
	アフリカ	30.4	31.5	32.2	36.5	38.4	38.3	2.6	1.3	1.8	72	530
中東	52.2	56.8	58.8	68.5	74.5	81.6	5.5	6.0	8.4	61	1,330	

(注) 2019年は暫定値

資料：UNWTO「World Tourism Barometer」

2019年の国際観光収入を到着国・地域別にみると、米国、スペイン、フランス、タイ、英国の順で高い(表II-1-32)。日本は17年に初のトップ10入りを果たし、2018年は9位だったが、さらに順位を上げて2019年は7位となった。その他の北東アジア地域の国・地域では、前年に比べ韓国と台湾では増加、中国と香港では減少と明暗が分かれた。

(2) アウトバウンド(出発地側)の動向

次に、出発地の国・地域別に世界の国際観光動向を概観する。国際観光支出(International Tourism Expenditure)

の出発国・地域別ランキングをみると、2019年も前年に引き続き中国が1位であり、シェアも17.2%と高いが、前年比(現地通貨基準)はマイナスに転じた(表II-1-33)。韓国の国際観光支出も前年比8.1%減と低調であった。一方、欧米の主要国では2019年の国際観光支出が前年に比べ増加しており、特にフランスで前年比(現地通貨基準)11.5%増と大幅に増加した。

北東アジア地域では、前述の通り中国と韓国では国際観光支出が前年に比べ減少したが、香港、日本、台湾の国際観光支出は前年に比べ増加した。

(川口明子)

表II-1-32 国際観光収入ランキング(到着国・地域別)

順位	到着国・地域	到着国・地域別 国際観光収入 (10億USドル)			シェア (%)	国際観光客到着数 (百万人回)		1人当たり 国際観光収入 (USドル/人回)
		2010	2018	2019		2019	2019	
1位	米国	137.0	214.7	214.1	14.5	79.3	2,700	
2位	スペイン	58.8	81.5	79.7	5.4	83.7	950	
3位	フランス	57.1	66.0	63.8	4.3	-	-	
4位	タイ	20.1	56.4	60.5	4.1	39.8	1,520	
5位	英国	34.7	48.6	50.4	3.4	39.4	1,280	
6位	イタリア	38.8	49.3	49.6	3.4	64.5	770	
7位	日本	13.2	42.1	46.1	3.1	31.9	1,440	
8位	オーストラリア	32.6	45.0	45.7	3.1	9.5	4,830	
9位	ドイツ	34.7	43.0	41.6	2.8	39.6	1,050	
10位	マカオ	22.3	40.7	39.5	2.7	18.6	2,120	
(11位以下の主な北東アジアの国・地域)								
11位	中国	45.8	40.4	35.8	2.4	65.7	550	
14位	香港	22.2	36.9	29.0	2.0	23.8	1,220	
19位	韓国	10.3	18.6	21.6	1.5	17.5	1,240	
29位	台湾	8.7	13.7	14.4	1.0	11.9	1,210	

(注) 2019年は暫定値

資料：UNWTO「World Tourism Barometer」

シェアおよび1人当たり国際観光収入は(公財)日本交通公社算出

表II-1-33 国際観光支出ランキング(出発国・地域別)

順位	出発国・地域	国際観光支出 (10億USドル)			シェア (%)	前年比 (現地通貨基準) (%)	
		2010	2018	2019		2019	18/17
1位	中国	54.9	277.3	254.6	17.2	5.1	▲4.2
2位	米国	86.6	144.5	152.3	10.3	7.1	5.4
3位	ドイツ	78.1	95.6	93.2	6.3	2.7	2.9
4位	英国	60.7	69.0	71.0	4.8	2.5	7.5
5位	フランス	38.5	48.9	51.7	3.5	6.3	11.5
6位	ロシア	26.7	34.3	36.2	2.4	10.3	5.5
7位	オーストラリア	26.6	37.0	36.1	2.4	10.3	4.8
8位	カナダ	30.0	34.4	35.3	2.4	▲1.0	5.1
9位	韓国	18.8	35.1	32.3	2.2	10.9	▲8.1
10位	イタリア	27.1	30.1	30.3	2.1	3.8	6.3
(11位以下の主な北東アジアの国・地域)							
12位	香港	17.4	26.4	26.9	1.8	4.7	1.6
15位	日本	27.9	20.2	21.3	1.4	9.4	3.8
17位	台湾	9.4	19.4	20.5	1.4	7.8	5.5

(注) 2019年は暫定値

資料：UNWTO「World Tourism Barometer」

シェアは(公財)日本交通公社算出